

第6回 静岡県支部総会報告

静岡県支部 副支部長 平川和貴 (H7・生分)

平成29年7月2日(日)にクーポール会館(静岡市葵区)において第6回鶴風会静岡県支部総会、講演会及び懇親会を開催しました。当日は、風呂田利夫鶴風会理事長、名和公士鶴風会理事、高橋正理学部長、支部賛助会員(準会員1名のご両親)を含む10名が出席しました。

当日の出席者(委任状を含む)が支部規約を満たしたことにより、総会は成立し、青島副支部長の司会進行により、中嶋支部長の挨拶から始まりました。議事として、2016年度活動報告、決算報告及び監査報告並びに2017年度活動計画案及び予算案が上程され、いずれも満場一致で承認されました。決算報告では、報告の書式が今年度から変更されている旨、説明があり、来年度以降もこれに従うこととなりました。

総会の最後に、高橋理学部長が理学部の現状について「理学部のいま」と題して紹介くださいました。入学式から在学時の行事、卒業式までの様子を最近の写真を使いご説明くださいました。特に、現在、学生のキャリア支援等の教育に力を入られている様子が感じられました。また、理学部と同じ習志野キャンパスに健康科学部看護学科が今年度から新設されたことが紹介されました。新しい建物や看護の道を志す新入生が理学部生とともに同じキャンパスで学んでいる様子が伝えられました。現在の理学部の様子が身近に感じられ、質疑応答では、参加者から多くの活発な質問がありました。

総会に引き続き、講演会では、中村香苗副支部長が「一般用医薬品の品質試験等」の題目で講演くださいました。講演では、講師の在学中の思い出に触れられた後、医薬品の取り扱い等に関する基本的な内容から、企業や試験機関における実務に関する話題を広く詳しくご提供くださいました。講演内容に興味をもった参加者から様々な質問があり、話題内容に関する活発な議論も行われました。

懇親会では会員の在学中の思い出や現在の理学部そして東邦大学全体の様子についておよそ1時間40分にわたり歓談致し、和食や中華を中心としたおいしい料理も楽しむことができました。

今回、支部総会の案内はがきの郵送が開催日の1か月前程度になりましたことから、例年よりも参加者が幾分少なくなったように思われました。来年度の静岡支部総会も夏の開催を予定しており、できるだけ多くの会員の皆様にご参加頂けるよう工夫して参りたいと思います。



総会終了後に撮影

前列左より、高橋理学部長、中嶋支部長、風呂田理事長、名和理事

後列左より、平川、中村副支部長、大石様（支部会員）、青島副支部長、中野様ご夫妻（支部賛助会員）